A-201 救急部門（必修)プログラム（統括）

1 概 要

救急部門（必修）プログラムでは、救急部門研修を救急科と麻酔科とで担当して行う。

また、救急外来日当直を担当し、1次救急から3次救急まで幅広く研修を行う

研修指導責任者

救急集中治療科 後藤　保

麻酔科 坂本 成司

2 目 標

(1) 中央病院GIO

将来遭遇しうるいかなる状況においてでも思いやりを持ちながら良質な全人的医療を行うために、県の基幹病院での研修を通じ、将来の専攻する診療科にかかわらず臨床に必要な基本的診療能力（態度、技能、知識）を修得する。

(2) 一般目標（救急部門研修GIO)

将来遭遇しうるいかなる状況においてでも思いやりを持ちながら良質な全人的医療を行うために、救急医療の現場で生命や機能予後に係わる緊急を要する病態や疾病を経験することにより、臨床に必要な基本的診療能力（態度、技能、知識）を修得する。

(3) 行動目標（救急部門研修SBOs）

以下のプログラムに記載している

A-202 救急部門（必修）－救急科担当プログラム

A-203 救急部門（必修）－麻酔科担当プログラム

3 方 略（LS)

以下のプログラムに記載している

A-202 救急部門（必修）－救急科担当プログラム

A-203 救急部門（必修）－麻酔科担当プログラム

また、月4 回程度の救急外来日当直を担当する。

4 評 価（EV）

(1) 形成的評価（フィードバック）

救急外来日当直については、救急外来日当直評価票を用いて行い、随時フィードバックを行う。

評価票の提出をもって救急外来日当直研修を実施したこととする。

5日間で1週間、20日間で４週間の救急部門研修とする。

(2) 総括的評価

A-202 救急科、A-203 麻酔科プログラムそれぞれの終了時にPG-EPOC に入力する

⇒臨床研修管理委員会へ報告